

放流警報通信設備 詳細設計照査要領
(受注者用)

平成20年 月

基本条件の照査項目一覧表

(照査)

業務名: _____

発注者名: _____

受注者名: _____

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式 - 1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。				
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。				
3	現地踏査	1) 地形、地質、現地状況、土地所有者を把握したか。 2) 既設隣接構造物を把握したか。(光ケーブル配管及びルート、鉄道、道路、河川、水路、送電線鉄塔等) 3) 気象条件を把握したか。 4) 環境状況を把握したか。(植樹、住宅地、病院等) 5) 支障物件の状況を把握したか。 6) 施工計画の条件を把握したか。(水没の可能性、進入路等) 7) 既設設備の状況を把握したか。 8) 電源の供給場所を把握したか。				
4	設計基本条件	1) 必要条件を整理したか。(放流警報予定局の位置、データ種類、必要桁数、制御監視処理方法、システム全体計画など)				
5	技術動向確認	1) システムに関連する技術動向の確認をしたか。(関連法規、政令、省令、標準等)				

基本条件の照査項目一覧表(様式 - 1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				該当 対象	照査	
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

細部条件の照査項目一覧表

(照査)

業務名: _____

発注者名: _____

受注者名: _____

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式 - 2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査		備考
				該当対象	照査	
1	放流警報の基本原則	1) 放流警報の基本原則は適切か。 (放流警報を実施すべき場合、放流警報を実施すべき範囲、放流警報の方法)				
2	置局計画	1) 机上設計の手順は妥当か。(地形、人家の条件を考慮し、サイレン等の音達範囲を警報対象地域地図へのプロット、回線構成検討、中継局の要否、所要S/Nの確保など) 2) 制御監視局の置局は妥当か。 3) 中継局の置局は妥当か。(局舎迄の保守用道路の確保、局舎の立地条件、気象条件・災害による悪影響を受けない場所、太陽電池設置局における太陽光の遮蔽のない場所など) 4) 警報局の置局は妥当か。(河川周辺住民へサイレン音による不快感を与えない場所、地形状況、立地条件、気象条件・災害による悪影響を受けない場所、太陽電池設置局における太陽光の遮蔽のない場所、維持管理を考慮した場所など) 5) 空中線柱は妥当か。(耐風速60m/S、伝搬調査結果による必要高、サイレン・スピーカ搭載時は音源を遮蔽しない必要高、積雪を考慮した強度検討など) 6) サイレン・スピーカ等は妥当か。 ア. サイレン・スピーカは妥当か。(設置位置、立地条件、積雪、寒冷地対策、地形条件、塩害対策など)				

		<p>イ. 回転灯は妥当か。(設置場所、視認性など)</p> <p>ウ. 表示盤、河川情報表示装置は妥当か。(設置場所、視認性、回転灯等と併設、屋外建造物強度計算など)</p> <p>エ. 太陽電池の設置は妥当か(太陽光を遮蔽する障害物の有無、架台傾斜角度など)</p> <p>7) 現地踏査事項は妥当か。(敷地面積、土地使用許可、警報対象地域と候補地点の関係、音源遮蔽物の有無、周囲騒音、気象条件による音達影響、災害に対する安全性、商用電源の引込・容量、保守管理用道路の有無・周辺状況、年平均日照時間、現地日照状況、見取図作成、杭打ち、写真撮影など)</p>				
--	--	--	--	--	--	--

細部条件の照査項目一覧表(様式 - 2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査		備考
				該当対象	照査	
3	回線設計	1) 机上計算は妥当か。(回線設計のための準備、周波数帯選定の条件、基準等、机上計算など) 2) 現地調査及び電波伝搬実験は妥当か。(現地調査、電波伝搬実験、実験結果の検討など) 3) 設置予定場所での音達実験は妥当か。(使用機材、測定項目、測定方法及び判定基準、実施要領、実施手順、基準S/N比の設定、周囲雑音レベルの設定、出力音圧レベルの調査、標準音達距離の設定、警報局配置案の作成など)				
4	電波防護制度	1) 「電波強度に対する安全施設」の対策は妥当か。(制度の概要、電波防護の基準値など)				
5	基本機能	1) 伝送回線は妥当か。(無線、有線など) 2) 放流警報システムの構成は妥当か。 3) システムの基本機能は妥当か。				
6	システム構成	1) 通信方式は妥当か。 2) 機器構成は妥当か。(制御監視局、中継局、警報局など) 3) 各装置は妥当か。(サイレン装置、拡声装置、回転灯装置、表示盤装置) 4) 電源装置は妥当か。(制御監視局、中継局・警報局、避雷対策、直流電源装置、太陽電池電源など)				

細部条件の照査項目一覧表(様式 - 2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査		備考
				該当対象	照査	
7	機器据付及び調整	1) 局舎設備は妥当か。(十分なスペース、高い耐震安全性など) 2) 機器の据付及び配置は妥当か。(機器配置、機器の据付固定、機器間配線、配管・配線(給電線)の敷設、空中線の取付など) 3) 避雷対策は妥当か。(避雷設備、接地工事など) 4) 機器調整は妥当か。				

成果品の照査項目一覧表

(照査)

業務名: _____

発注者名: _____

受注者名: _____

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式 - 3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。				
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 全体システム系統図 機器配置図 配線系統図 機器等構成図 機器据付図 配管配線図等 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。				

成果品の照査項目一覧表(様式 - 3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				該当対象	照査	
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。				
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。				
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 騒音・振動・景観等の環境についての検討 規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 特別な安全対策についての検討 省資源対策・リサイクル対策等についての検討				

成果品の照査項目一覧表(様式 - 3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査		備考
				該当対象	照査	
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				